

門司港ポンプ場

所在地：福岡県北九州市

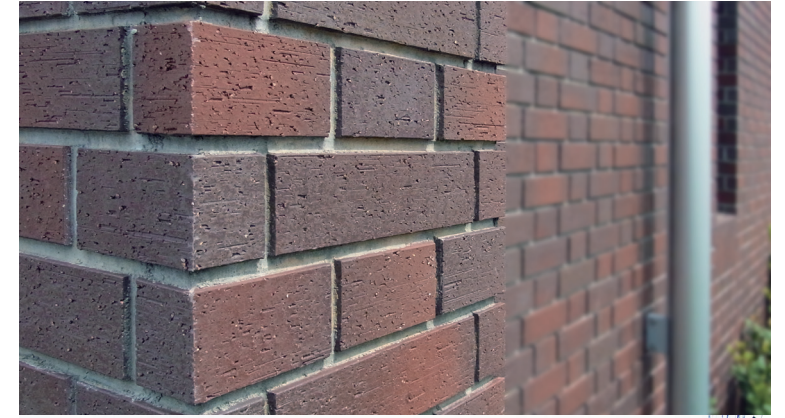
門司港ポンプ場



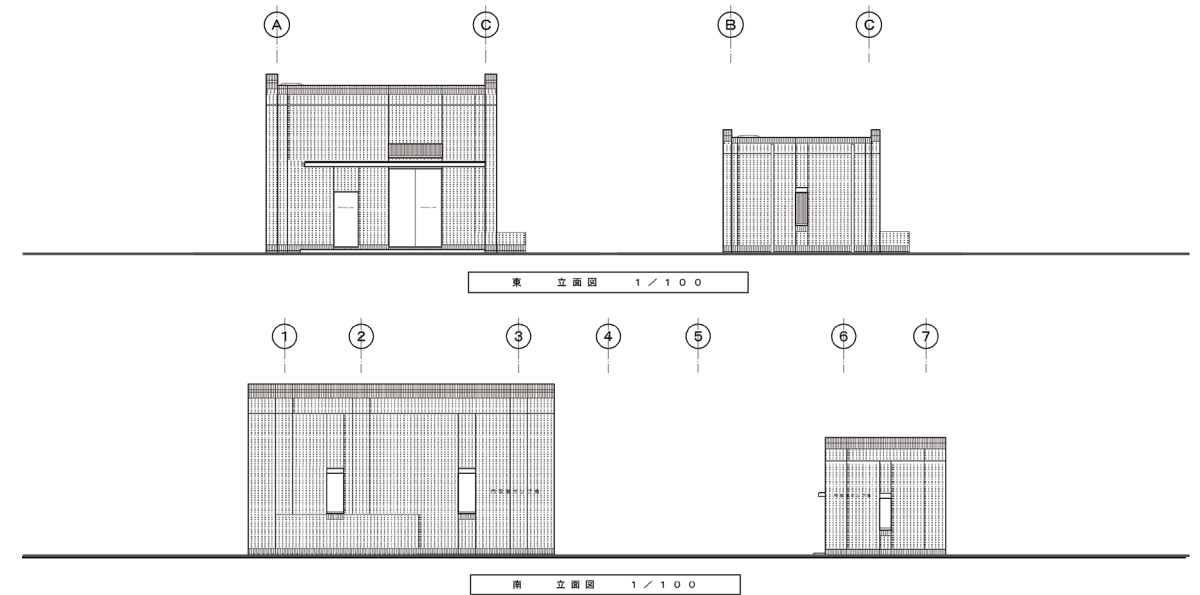
敷地境界には柵を設けずに、敷地周辺との連続性を考慮した。周囲の建物と断絶することなく調和を図っている。

建物の外壁部分に大きくせり出した防火壁調の壁を配置した。これにより、建物にレトロな印象と陰影を与えた。

外部の仕上げには2丁掛けのタイルを使用した。目地を深目地にすることで彫の深い印象的な外観となり、レトロな印象を作り上げている。



敷地には過去に使用されていた路面電車が配置され、レトロな印象を与えている。路面電車と本建物は、訪れた観光客がこの後出会うであろう大正ロマン漂う建物群の導入部となるような雰囲気を作り出している。



地域景観との相乗効果

本施設は門司港レトロ駐車場の地下に下水道施設(雨水滞水池)を設置する計画である。機能上、ゲート設備、脱臭設備及び点検・搬入スペースが必要となり、地上部にそれらを納める上屋が必要となる。デザインコンセプトとしては、門司区門司港景観重点整備地区内の海運倉庫区域に相応しい施設景観とす

ることを考慮して設計を行った。意匠的な設計では景観アドバイザー制度による協議を重ねて決定した。外壁タイルは石器質タイル2丁掛けフランス張深目地を採用しており、材質、張り方まで決めていく必要があり、外観に対して緻密な内容を求める設計となった。